

仕 様 書

1. 件名

光子線治療の品質管理業務に関わる技術支援

2. 数量

一式

3. 履行場所

千葉県稲毛区穴川 4 丁目 9 番 1 号

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

QST 病院地下 1F 高エネルギーリニアック治療室、操作室

第 3 研究棟(旧病院棟)地下 1F コバルト第 1 照射室、操作室

4. 目的

本件は、光子線治療に係る治療照射装置の品質管理に必要となる測定業務やデータ解析業務等を行い、光子線治療に係る品質管理業務の支援を行うものである。

5. 作業期間、人員

(1) 作業期間： 令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までとする。

原則として、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）は除く。

(2) 作業人日の目安： 48 人日分

(3) 作業時間：原則として 8:30～17:00

なお治療等の都合により、この時間帯以外に作業を行う場合がある。

6. 業務概要

光子線治療に係る品質管理業務の技術支援を行う。リニアック、コバルト照射装置の品質保証・品質管理をはじめ、電離箱・ガラス線量計システム等の測定データの整理・解析等の支援を行う。なお、業務内容は、その都度事前に通知するので、実施可能な体制を整えていること。

7. 業務内容

(1) 米国医学物理学学会発刊の TG-142 レポート「医療用加速器の品質保証」（日本医学物理学学会のウェブサイト）に国立がん研究センターがん研究グループによる和訳版掲載、URL：

<http://www.jsmp.org/wp-content/uploads/AAPM-TG142.pdf>) に基づき、当機構の治療用高エネルギーリニアックの QA (品質保証)・QC (品質管理) を行う。なお、リニアックの QA・QC 作業は治療終了後に実施すること。

(2) 電離箱 (PTW 社製 TN30013)・ガラス線量計システム (AGC テクノグラス社製 Dose Ace) の品質管理ならびに測定データの整理・解析 (読み取り作業からアニール等の再処理も含む) を実施すること。

(3) コバルト照射装置 (ヨシザワ LA 社製 TYC-3001) の品質管理を行うこと。コバルト照射装置の品質管理作業は、当機構と使用時間を調整のうえ行うこと。

(4) 発注者は受託者の責任者に対して、業務仕様・成果物要件・納期・品質基準・変更要求等を指示・協議する。受託者は自らの指揮命令・管理の下、当該業務を遂行する。

安全衛生・施設利用・情報セキュリティ等に関するルール遵守については、発注者が必要な範囲で周知・指示できる。(ただし作業手順への踏み込みは不可)

8. 業務に必要な資格等

受注者は、放射線測定に関し計量法第 143 条第 1 項に基づく校正認定事業者であること。

本件の作業にあたる技術者のうち少なくとも 1 名は、光子線治療の品質管理業務の技術支援を行うために放射線治療品質管理機構の認定する放射線治療品質管理士の資格もしくは一般財団法人医学物理士認定機構の認定する医学物理士の資格を有していること。また、受注者は三年以上の線量校正の経験を有し、リニアックの品質管理の経験およびガラス線量計システムを用いた線量評価の経験を一年以上有すること。

9. 受注者の服務等

(1) 受注者は、当機構の管理上の諸規定に従うものとする。

(2) 受注者は、労働安全衛生法を遵守するものとする。

(3) 異常事態が発生した場合は、直ちに所定の連絡場所に通報し、当機構の指示に従うものとする。

(4) 受注者は、業務上知り得た情報を当機構の許可なしに第三者に開示してはならない。特に本業務では、患者治療情報を扱う場合がある。そこで知り得た患者情報については守秘義務を負うとともに、これら患者データの当機構外への持ち出しは厳重に禁止する。

(5) 受注者に上記 (1) ～ (4) について違反があり、当機構に損害が生じた場合、当機構は受注者に損害の賠償を求めることがある。

10. 提出書類 下記の書類を提出すること

	書類名	指定様式	提出期日	協議の 要否	部数	備考
1	仕様書「8. 業務に必要な資格等」を有することを証明する資料	指定なし	作業開始前までに	-	1部	
2	総括責任者	量研様式	契約後及び変更の都度速やかに	-	1部	総括責任者代理も含む
3	実施要領書	指定なし	契約後及び変更の都度速やかに	○	1部	
4	従事者名簿	指定なし	契約後及び変更の都度速やかに	-	1部	
5	業務日報	指定なし	業務終了時	-	1部	
6	業務月報	指定なし	翌月7日まで	-	1部	
7	終了届	量研様式	翌月7日まで	-	1部	
8	業務予定表	指定なし	毎月初め	○	1部	

11. 検査

毎月作業完了後、当機構職員が所定の要件を満たしていることを確認したことをもって検査合格とする。

12. グリーン購入法の推進

- (1) 本契約において、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に適用する環境物品（事務用品、OA機器等）が発生する場合は、これを採用するものとする。
- (2) 本仕様で定める提出図書（納入印刷物）については、グリーン購入法の基本方針に定める「紙類」の基準を満たしたものであること。

13. その他

- (1) 作業時に必要なコンピュータと開発用ソフトウェア環境、及び必要な消耗品、机・ロッカー等の備品類は当機構より貸与する。
- (2) 作業時に必要な光熱水料および電話料は当機構が負担する。
- (3) 技術者等の休憩等に要する施設は当機構より貸与する。

- (4) 業務遂行上受注者が被った災害について、当機構の責により生じた災害を除き、当機構は一切の責任を負わないものとする。
- (5) 特別の事情のない限り、当機構へは原則公共交通機関を利用して来所することとし、車での来所は認めない。
- (6) その他、本仕様書の内容に疑義が生じた場合については、協議の上処理するものとする。

部課（室）名 QST 病院 医療技術部
放射線品質管理室
使 用 者 氏 名 水野秀之